# 刈谷の輝く

刈谷ですてきな活動をしている人を紹介します！



※中央が小林さん

## 2026テトラスロンU15 世界選手権大会 6位入賞

## 小林（こばやし） 聖奈（せいな）さん

**プロフィール**

依佐美中2年生、中学の陸上部と雁が音SC所属。小学生の頃から、水泳で全国大会出場、陸上で県大会2位になるなど、幅広い競技で活躍。11月の大府シティ健康マラソン大会では、大会記録を更新して優勝。

### キング･オブ･スポーツで世界に挑む

「世界というレベルの高い舞台で勝負ができて楽しかった」と笑顔で話すのは、中学生にしてキング・オブ・スポーツとも呼ばれる近代五種に取り組む小林さん。8月にスペインで行われた2026テトラスロンU15世界選手権大会で、見事6位入賞を果たしました。近代五種は、フェンシング、水泳、オブスタクルと呼ばれる障害物レース、レーザー射撃とランニングを組み合わせたレーザーランの総合得点で競うスポーツです。体力や集中力はもちろん、それぞれの種目に対応する技術も必要となり、選手の総合力が試されます。

### 同世代と競い、さらなる高みへ

小学生の頃から水泳とレーザーランの近代三種で世界選手権に出場していた小林さん。5年生の頃にフェンシングを経験し、楽しそうに取り組む姿を見た父から近代五種を勧められたことがきっかけで競技を始めました。

今回の世界選手権には、国内の選考会で標準記録をクリアした上位の選手が出場。小林さんはU19の標準記録も上回り、U17での出場を打診されるほどの好記録をマークしましたが、「同世代の選手と勝負したい」とU15での出場を決めました。

大会を通して世界のレベルの高さを感じた一方、結果には満足しておらず、「入賞はできたけど6位は正直悔しかった。もっと上を目指せた」と悔しさをにじませます。また、海外の選手のプレーを見て「オブスタクルがとても上手くて、見ていて楽しかったし刺激を受けた。もっと練習しないといけないと感じた」と世界の上位を見据えます。

### 隙のない選手に

放課後の水泳や陸上はもちろん、休日も朝は中長距離走、昼はフェンシング、夜は水泳と日夜練習に取り組む小林さん。総合運動公園の健康器具を使い、オブスタクルの練習にも力を入れています。「近代五種はどれか一つでもミスをすると取り返すのが難しい競技。苦手な種目をなくし、どの種目でも平均以上の結果を出せるようにしたい」と意気込みます。世界一を目指す若きオールラウンダーの挑戦に、今後も注目です。

## 輝くの原動力！

### 毎日の給食が楽しみ！

いつもおかわりするくらい大好きです。特に鶏肉とレバーのメニューが大好物！



### 雁スポのコーチや仲間

調子が悪い時でも熱心に指導してくださるコーチやアドバイスし合える仲間のおかげで頑張れます。

